

令和4年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会  
肺がん部会 概要

- 1 日時：令和5年1月27日（金） 13：30～15：00
- 2 場所：オンライン
- 3 出席者：

	氏名	所属
委員	上村 博幸	一般社団法人ぎふ総合健診センター 専務理事
	佐竹 真一	岐阜県医師会 常務理事
	金森 妙子	岐北厚生病院 臨床検査技師
	竹中 明美	日本赤十字社岐阜赤十字病院 診療放射線技師
	可知 真樹	市町村保健活動推進協議会保健師部会（恵那市）
オブザーバー	久保田 芳則	可茂保健所 所長
事務局	井上 玲子	保健医療課長兼健康推進室長
	田中 和美	主幹兼がん・受動喫煙対策係長
	江坂 ゆめか	技師
	成瀬 萌果	主事

4 内容：

報告：1 令和3年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会肺がん部会議事

2 岐阜県のがんの現状等

- ・新型コロナウイルスによる受診控えよりも、当事者が感染することや、濃厚接触者となること、体調不良等で受診したくてもできない状況による検診のキャンセルが多い印象がある。
- ・現状では新型コロナウイルスの影響が進行度等に表れていないが、より多くのがんが検診で発見できるよう受診率の向上が必要。

3 がんの予防（肺がん検診）の推進について

(1) 正しいがん検診の実施

- ・低線量胸部CT検査は被爆のリスク・過剰診断の不利益もあり、死亡率の減少を目的とした対策型検診としては奨められない。低線量胸部CT検査を行う市町村に対しては引き続き部会からの通知を行い、文書指導とする必要がある。

## (2) がん検診マネジメント

- ・市町村の精検結果回収方法について、がん検診の指針を遵守し、かつ、回収率を最大化できる方法を県内市町村の好事例から考察し、体制整備を進める。
- ・委託した検診機関がチェックリストの項目を遵守した検診を行っているかの確認を市町村が実施するように働きかける必要がある。

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関に周知を行い、精度向上に向けた取組みを促していく。